

津波避難訓練



酒井 信幸

問 訓練への参加要請はどのように行なったか。

総務部長 広報、エフエムいわぬま、各町内会長、臨空工業団地協議会等を通じて参加を呼び掛けました。

呼び掛けすべきでは

問 大勢の住民が参加できないの呼び掛けをすべきではないのか。



津波防災訓練の様子

総務部長 今後、訓練を行う場合、より(多く)参加していただくことを前提にPR活動に努めたいと思います。

問 玉浦西の移転地に今後住むはずの仮設住宅住民に、なぜ訓練への参加要請を行わなかったのか。

総務部長 仮設住宅の各町内会長には情報を提供しました。移転地に住居が変更になった時は、あらかじめ実践に即した訓練を行う必要があると考えます。

問 各小中学校の防災主任との連携を図ったか。

教育長 玉浦小・中学校の防災主任、校長、教頭と詳細な打ち合わせを行いました。他の防災主任は集まりませんでした。今後、防災主任会議で、実績の評価と課題を検討します。

問 机上の論と実際の現場では感覚が違う。いざという時に、力を発揮すると思うかどうか。

教育長 今後、このような訓練が行われる時には、検討して、しっかり対応したいと考えます。

その他の一般質問

渡辺 ふさ子

- ▼ 今後の岩沼市の保育行政
- ▼ 自然エネルギー
- ▼ 国井 宗和
- ▼ 岩沼市中心市街地活性化基本計画
- 佐藤 淳一

第10回復興推進特別委員会を開催

岩沼市議会震災復興推進特別委員会が10月29日に行われました。

執行部から国へ提出した復興交付金事業計画について説明があり、復興交付金申請額は19事業で約316億円となっています。

主に防災集団移転に約42億円、市道沿線盛土・避難路整備に約94億円、排水路整備・排水機場新設整備に約146億円、被災地域農業復興関連に約6千万円、千年希望の丘防災公園整備に約32億円となっています。

国からは、11月末までに事業内容の決定が示されることとされています。また、災害危険区域の指定について説明があり、2次防御となるかさ上げ道路

- ▼ 防災対策
- ▼ 古典の日
- 松田 由雄

- ▼ 千年希望の丘整備事業
- ▼ 旧日本通運跡地の利用
- 佐藤 一郎
- ▼ 観光事業
- 長田 忠広
- ▼ 8/20実施の通学路総点検

- 布田 恵美
- ▼ 防災減災のための婦人防火クラブ活動への取り組み

- 須藤 功
- ▼ 危険区域の設定
- 酒井 信幸
- ▼ いじめ対策

主な質疑

の新ルートも示されました。
「新浜や蒲崎に残る方についてはどう考えるか」
「第1種危険区域の二野倉工業団地地区と第2種危険区域の新拓・西原地区の土地利用はどうか」
「集団移転区域の土地は、国土調査の地積で買えるのか」

第4回議員全員協議会を開催

震災復興推進特別委員会終了後、議会報告会(10月6日(土)に3班に分かれ、市内6カ所で開催)の反省・改善について議論するため議員全員協議会(全協)が開催されました。

各班からの報告を受け、市民からの要望等について、

「被災地域農業復興総合支援事業では、沈下した農地に盛り土はするのか。地下水の塩分濃度が高いことについてどうするか」
「津波で防風林が無くなり潮風がまともに来る。防風林計画を作るべきではないか」
「千年希望の丘事業では民有地を買わないと言っていたが、用地買収はどのくらいで考えているのか」

て、議会としてどのように対処していくのかなどの意見がありました。今後、市民からの要望は、各班で協議をした後に全協等で取り扱いについて検討していくことになりました。

その他、次回からの開催回数なども議論されました。